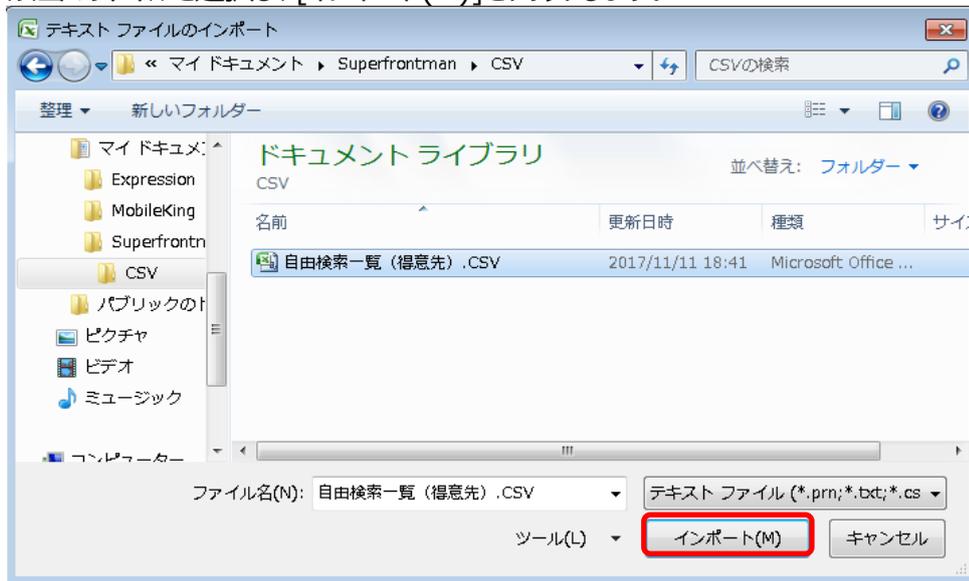
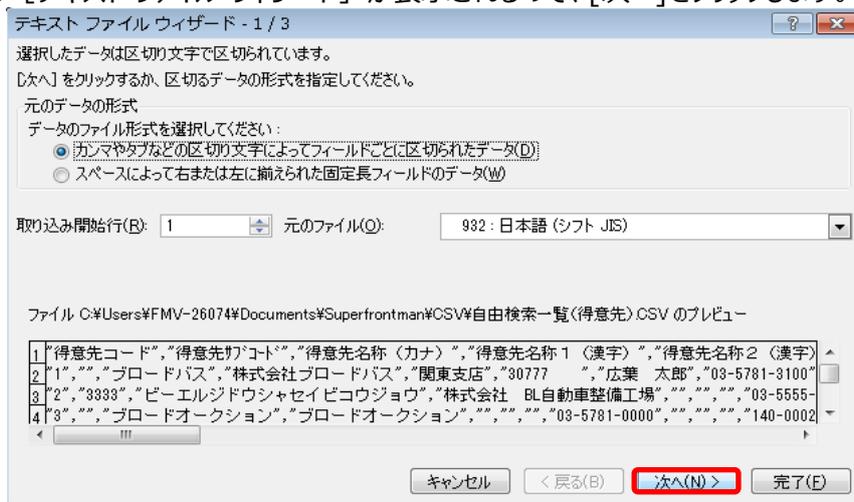


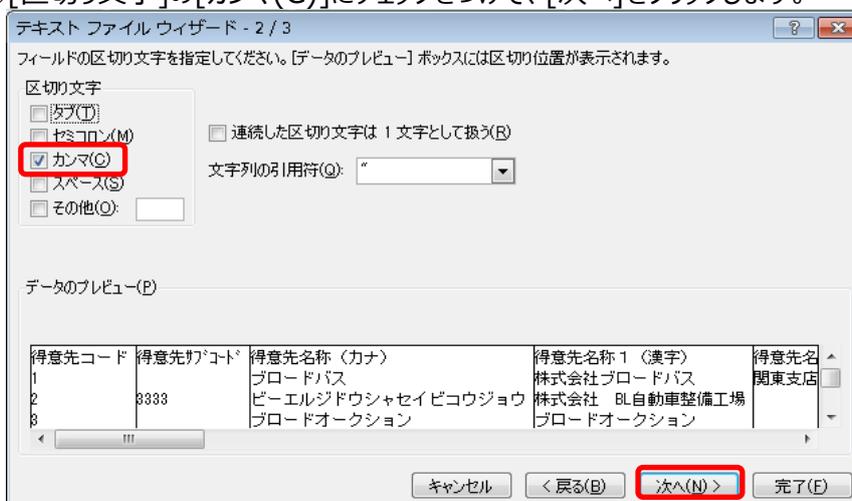
④ 該当のファイルを選択し、[インポート(M)]をクリックします。



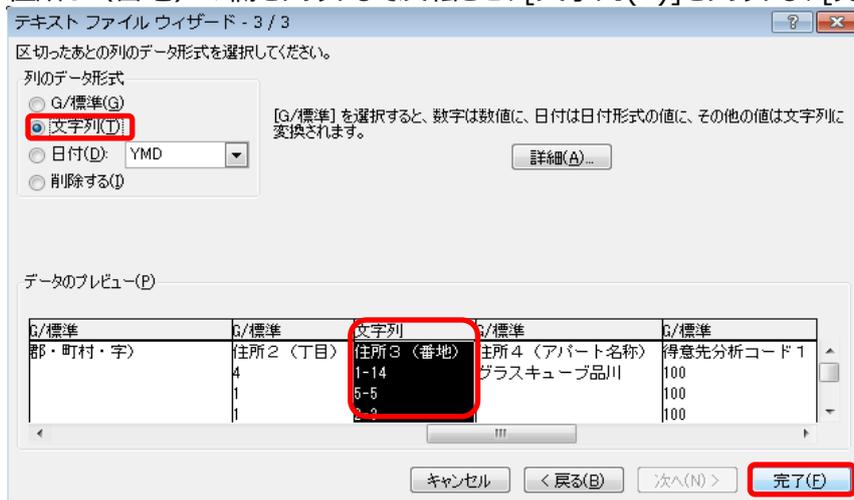
⑤ [テキスト ファイル ウィザード] が表示されるので、[次へ]をクリックします。



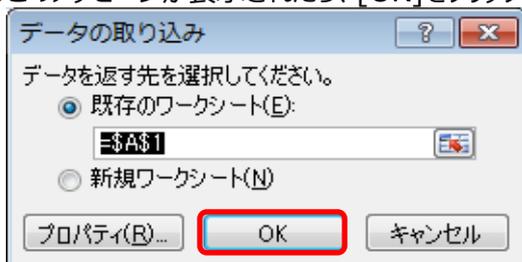
⑥ [区切り文字]の[カンマ(C)]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



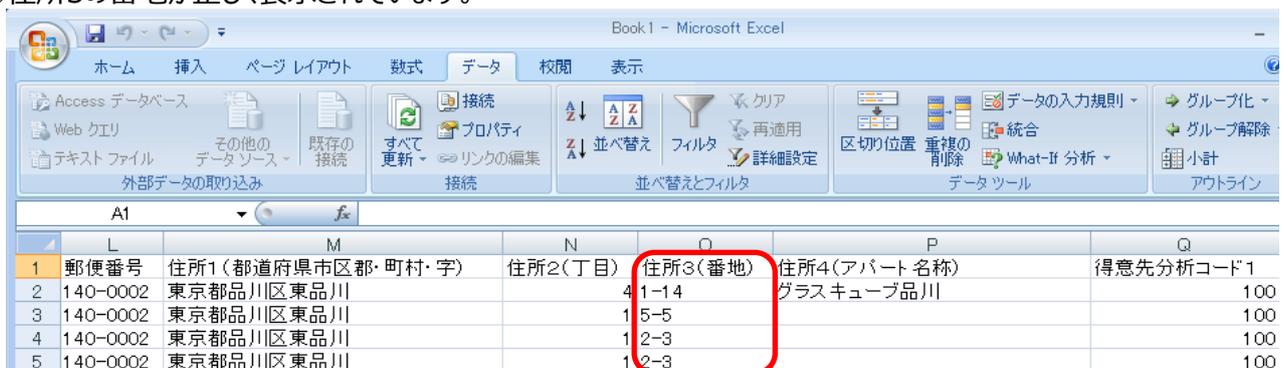
⑦住所3（番地）の欄をクリックして反転させ、[文字列(T)]をクリックし、[完了(F)]をクリックします。



⑧このメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

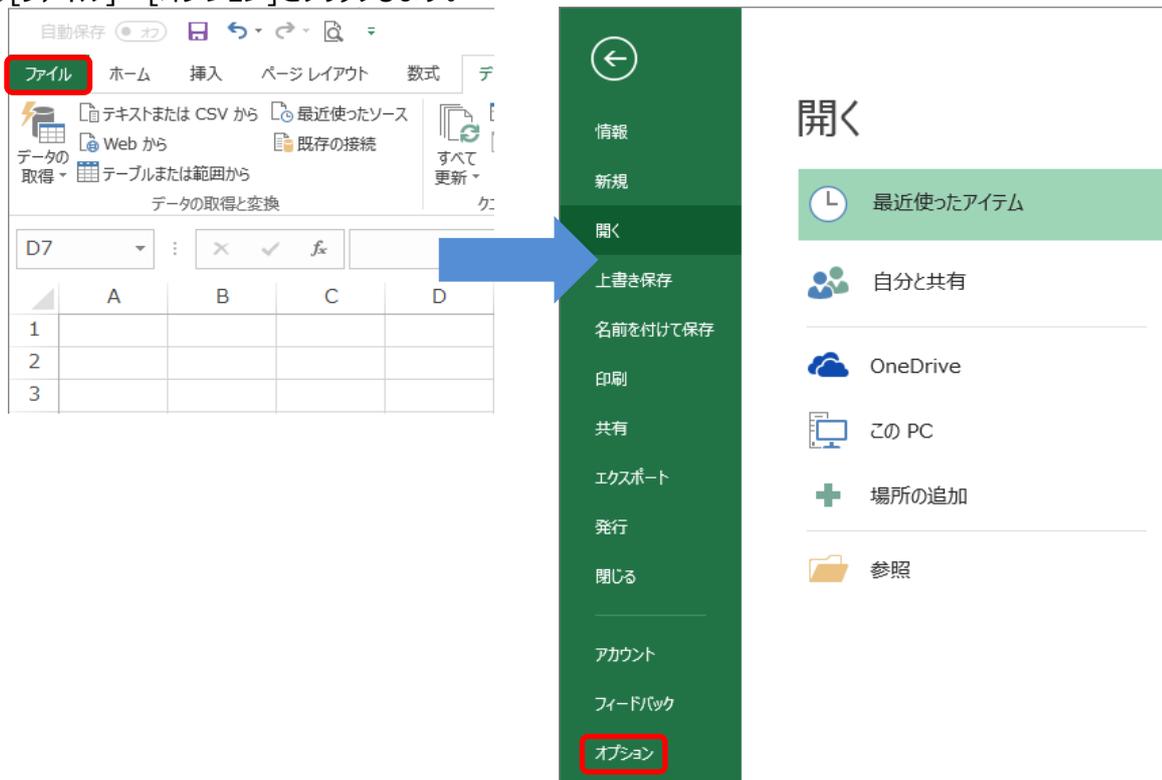


⑨住所3の番地が正しく表示されています。



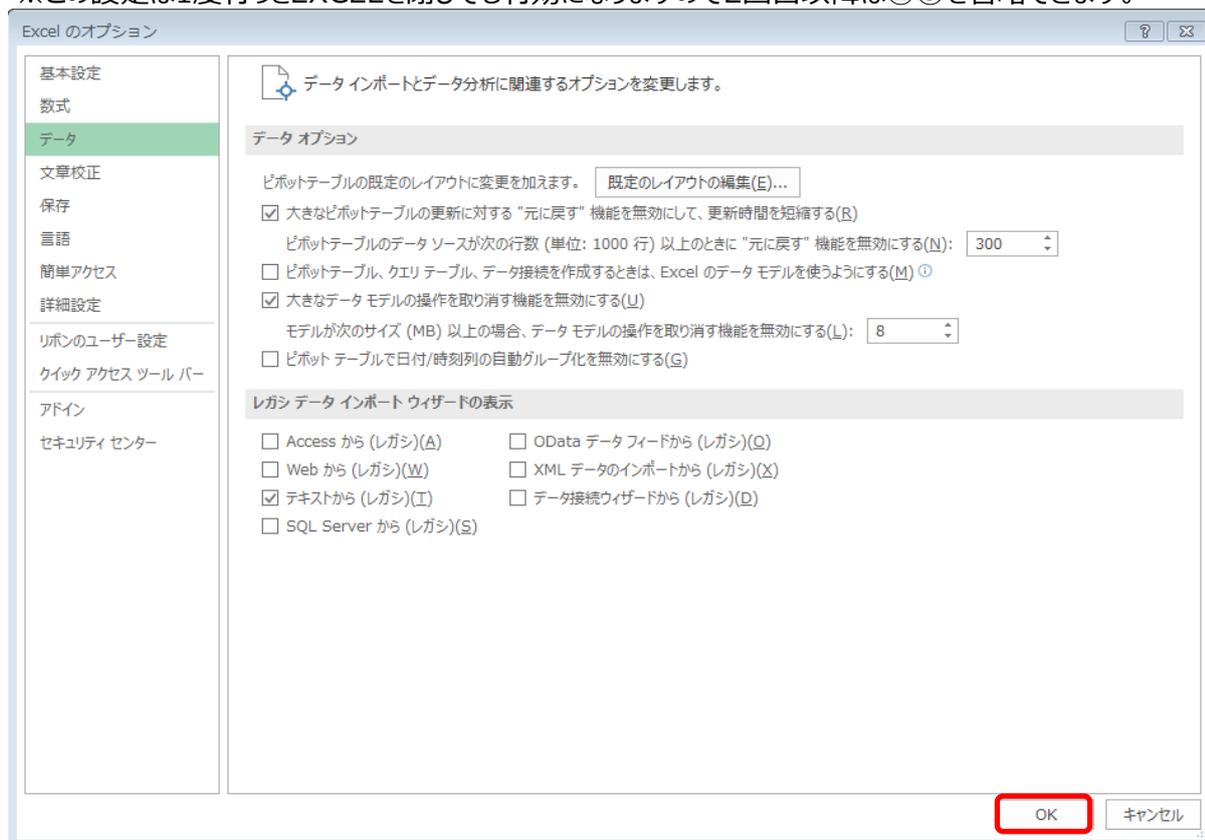
【EXCEL2016以降の場合】

②[ファイル]→[オプション]をクリックします。



③[データ]の中の、[テキストから (レガシ) (T)]にチェックをつけて、[OK]をクリックします。

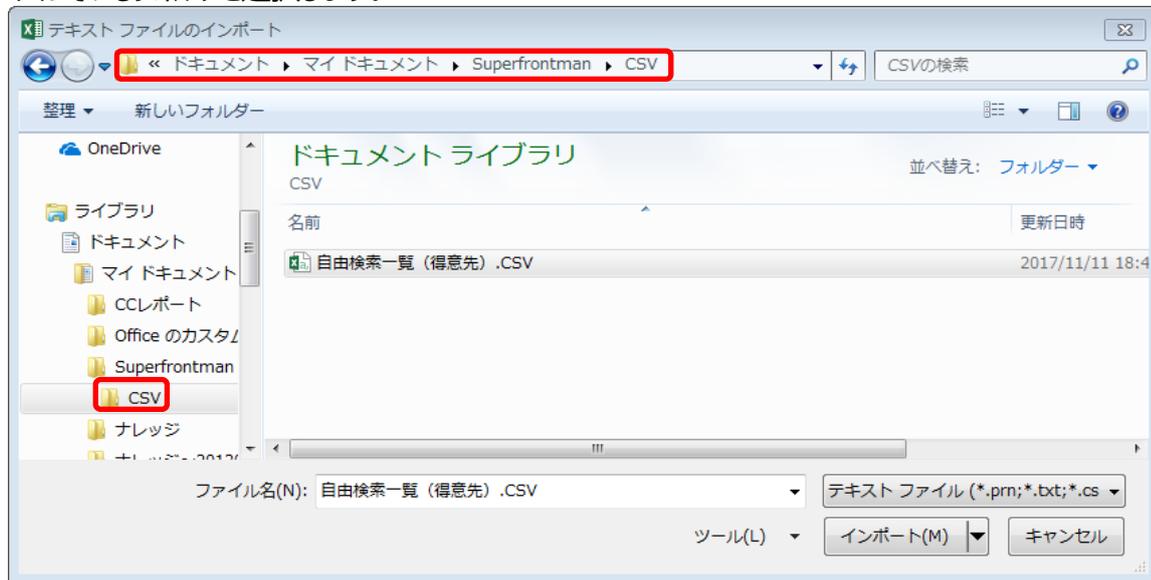
※この設定は1度行くとEXCELを閉じても有効になりますので2回目以降は②③を省略できます。



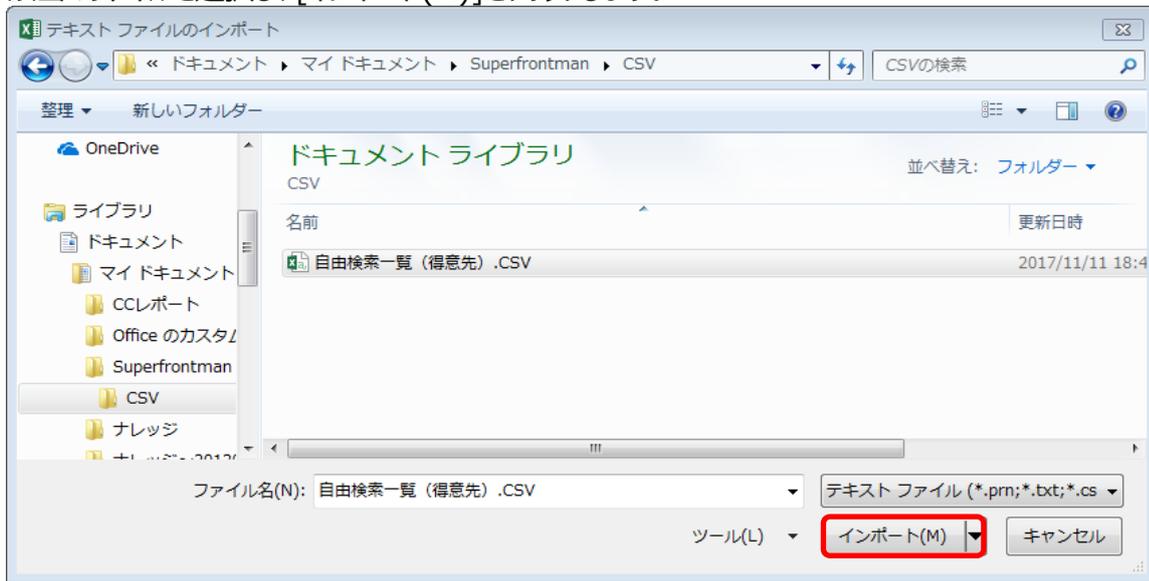
④画面上の[データ]タブをクリックし、[データの取得]→[従来のウィザード(W)]→[テキストから(レガシ)(T)]をクリックします。



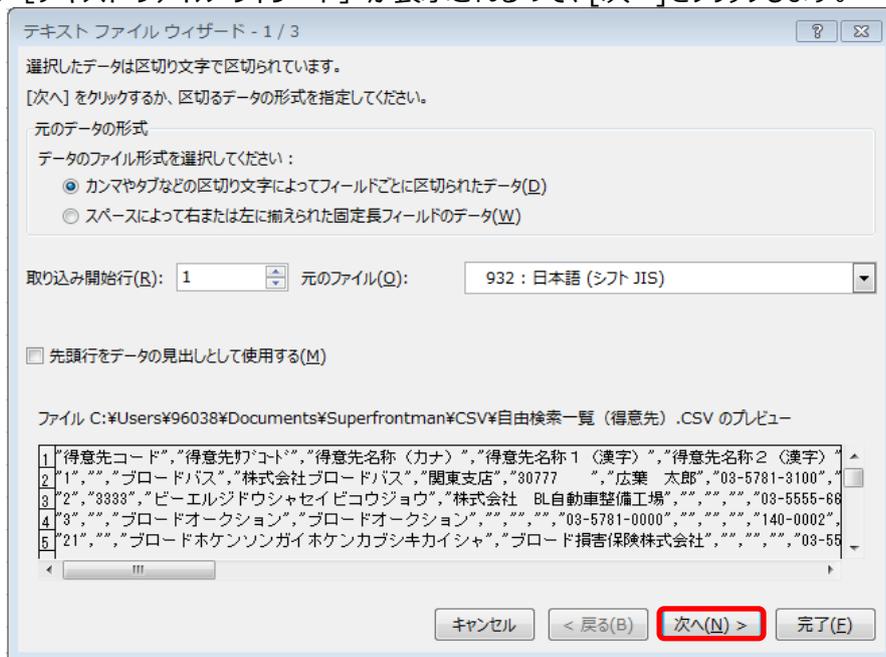
⑤[テキストファイルのインポート]のウィンドウが表示されるので、画面左または上の枠から該当のファイルが入っているフォルダを選択します。



⑥ 該当のファイルを選択し、[インポート(M)]をクリックします。



⑦ [テキスト ファイル ウィザード] が表示されるので、[次へ]をクリックします。



⑧ [区切り文字]の[カンマ(C)]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

- タブ(I)
- セミコロン(M)
- カンマ(C)**
- スペース(S)
- その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(P)

得意先コード	得意先グループコード	得意先名称 (カナ)	得意先名称 1 (漢字)
1		ブロードバス	株式会社ブロードバス
2	3333	ビーエルジドウシャセイビコウジョウ	株式会社 BL自動車整備工場
8		ブロードオークション	ブロードオークション
21		ブロードホケンソンガイホケンカブシキカイシャ	ブロード損害保険株式会社

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

⑨ 住所3 (番地) の欄をクリックして反転させ、[文字列(T)]をクリックし、[完了(F)]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

- G/標準(G)
- 文字列(T)**
- 日付(D):
- 削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

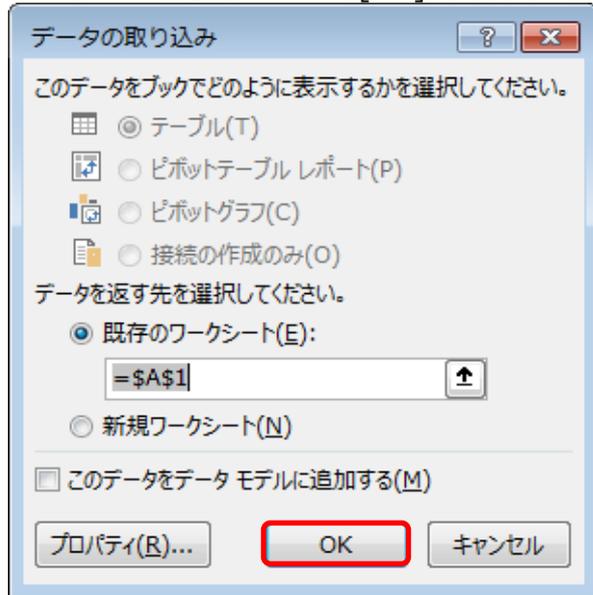
詳細(A)...

データのプレビュー(P)

G/標準	G/標準	文字列	G/標準	G/標準
住所1 (都道府県市区郡・町村・字)	住所2 (丁目)	住所3 (番地)	住所4 (アパート名称)	得意先分析
東京都品川区東品川	4	1-14	ガラスキューブ品川	100
東京都品川区東品川	1	5-5		100
東京都品川区東品川	1	2-3		100
東京都品川区東品川	1	2-3		100

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > **完了(E)**

⑩このメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。



⑪住所3の番地が正しく表示されています。

	L	M	N	O	P
1	郵便番号	住所1 (都道府県市区郡・町村・字)	住所2 (丁目)	住所3 (番地)	住所4 (アパート名称)
2	140-0002	東京都品川区東品川		1-14	グラスキューブ品川
3	140-0002	東京都品川区東品川		1 5-5	
4	140-0002	東京都品川区東品川		1 2-3	
5	140-0002	東京都品川区東品川		1 2-3	
6	140-0002	東京都品川区東品川		0	シーサイドウエストタワービル8 F9
7					